

脱原発シリーズ！ No.3

政府、津波に責任転嫁！

IAEA(国際原子力機関)に福島第1原発事故の報告書を提出！！ 「地震による大きな損壊は確認されていない」？

政府は、6月7日、福島第一原発の事故を受けて、IAEAに政府報告書を提出しました。その28の教訓の中で、地震・津波への対策の強化について「原子炉施設の安全上重要な設備や機器は現在まで地震による大きな損壊は確認されていない……。津波は設計または評価の想定を大幅に超える規模だった。…手順書では、津波の侵入は想定されていなかった。」

福井県知事 原発再開を認めず！ IAEA報告書「安全対策不十分」！

6月7日の夜、国内最多の14基の原発が立地する福井県の西川知事は、政府がIAEAに提出した報告書の安全対策に対して「原発立地自治体の不安に対する答えではない」と述べ、定期検査などで停止中の原発の運転再開を認めない考えを会見で示しました。

西川知事は「原子炉施設への地震の影響が不明。高経年（老朽）化原発への対応も明らかではない。」などと指摘しています。

「原発再稼働は可能」との見解を示す経済産業相！

6月18日、海江田万里経済産業相は、同省の原子力安全・保安院の調査を基に（保安院が6月7日から調査）「各原発ではシビアアクシデント（過酷事故）対策が適切に取られている」として、定期検査などで停止している原発について再稼働を要請する考えを示しました。

（「人類が経験した原発事故を全て考えて対応した。今回の対策をやっている原発は安全だ」西山英彦・保安院審議官は18日夜の記者会見でこう力説した。【6月19日の毎日新聞】）

地震列島から脱原発・反核の闘いに立ちあがろう！

未曾有の東日本大震災で被災した福島第一原発の現実を目の当たりにしている私たちが、尚も原子力・原発のエネルギーに頼っていて良いのでしょうか。

また、核兵器製造のためにはなくてはならない原子力発電所の意味するものには目を覆い、核エネルギーの平和利用の主張に誤魔化されてはいけません。

この間、戦争のない平和な世界を目指し取り組んできている私たちだからこそ、現実を受け止め、未来の子供たちがこの地球上で安心して生存し続けるために、脱原発・反核の闘いに発言し行動に立ち上がりましょう。